



2学期が始まりました！

今年も、いよいよ2学期開始です。しかし、中には、なかなか調子が出ない人もいるのではないかと思います。そんな時は、早起き、早寝、朝ご飯パワーで、生活リズムをしっかりとつくりましょう。門川町教育研究所は、夏休みの間も研究活動を行いました。今回の「ふれあい6号」では、夏休み期間中の研究活動の様子と2学期の生活や学習で大切にしたいこと、を紹介したいと思います。是非、役立ててください。

～ 夏休み中の研究活動紹介 ～

夏季研修

研究員の知識や教養を深め、これからの研究活動を充実するために、8月3日(金)、宮崎市教育情報研修センターで、宮崎市の先生と一緒に合同研究会を行いました。

研究のテーマは、子どもたちの勤労観や職業観を育てる「キャリア教育」と子どもの命を守る「防災教育」をどのように進めたらよいか、というものです。宮崎市の研修センターの先生や研究員と一緒に一生懸命勉強しました。今後、この研究の成果を、これからの各学校の授業に生かしていきたいと思います。

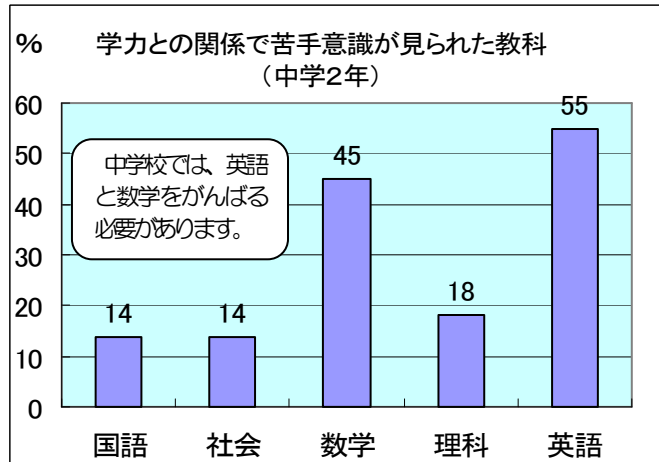
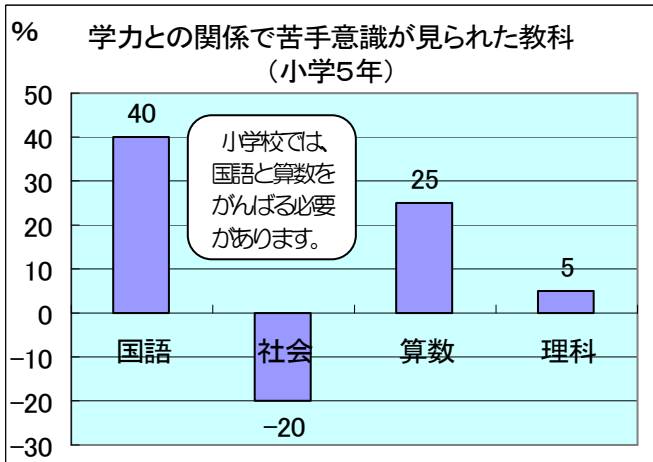


(宮崎市教育情報研修センターでの研修)

2学期こそ、苦手な教科を克服しよう！

4月、小学5年・中学2年を対象に、みやざき学力・意識調査が行われました。門川町の結果をもとに、学力をしっかりと育てるためのヒントをさぐり、紹介します。

平成24年4月実施
みやざき学力・意識調査の結果から



学力が高いグループとそうでないグループで好きな教科を調べたところ、好き嫌いの差が大きかったのは、小学5年生では国語・算数、中学2年生では英語・数学でした。このことから、学力の差によって苦手意識が一番大きくあらわれ、学力と深く関係しているのは、小学5年では国語・算数、中学2年では英語・数学ということが言えそうです。
誰でも苦手な教科はありますが、この苦手教科をがんばると、学力が見ちがえるように伸びてきます。勉強に自信がつかます。「苦手だからこそがんばる」という気持ちで、苦手のかべを乗り越え、学力アップをめざしましょう。

2学期、確かな学力を身につけるために！

学力が上位だった子どもたちが、家庭学習や毎日の生活で大切にしている、学力と深く関係していることを紹介します。

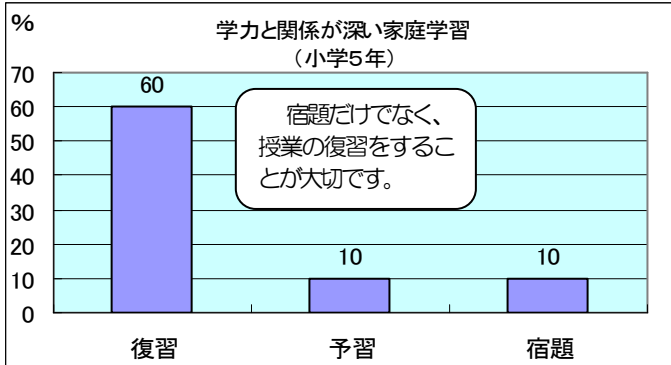
(グラフの数字は、学力上位と下位の子ども意識の差を%で表しています。差が大きいほど学力と関係していると考えられます。)

みやざき学力・意識調査

(門川町の結果)から

【小学5年・中学2年】

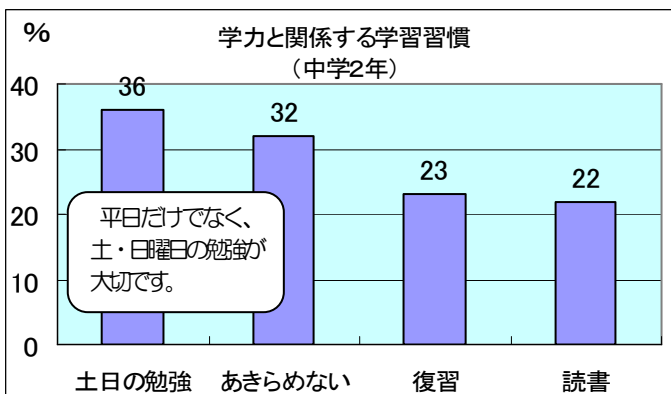
宿題だけでなく、授業の復習もしっかりする子は、学力が伸びる！



学力上位の子どもは、学校の宿題をするだけでなく、授業の復習もよくやっていることがわかりました。また、グラフでもわかるように、授業の予習をすることより、復習をしっかりすることが大切だと言えます。

その日に習った授業の内容を、しっかり復習し、それを毎日積み重ねることで、学習したことが確実に身に付き、学力が高くなるというわけです。

土・日も勉強する、最後まであきらめずに考える子は、学力が伸びる！



学力が上位の子どもは、平日だけでなく、土・日曜日もしっかり勉強しています。また、勉強では、わからない時はあきらめずに考える、授業の復習をする、読書をする、といった学習習慣を身に付けています。

家庭学習の習慣は、学力と深い関係があります。中学2年生の意識調査の結果は、家庭でどのような学習習慣が大切かを教えてくれています。

教育研究所からのメッセージ

ここで紹介したことは、どれも当たり前のことですが、これを実行すること、継続することこそがとても大切です。

- 家庭学習では、授業の復習を中心に、くり返し練習に力を入れましょう。
- 学習習慣では、土・日曜日の勉強、わからない時はあきらめずに考える、授業の復習をする、読書をする、といったことを大切に、きまりよい生活を送りましょう。

子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話(門川町教育相談室)

63-1566

~~~~返信欄(教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。)~~~~